

事業概要

1. 組織と業務

(平成26年3月31日現在)

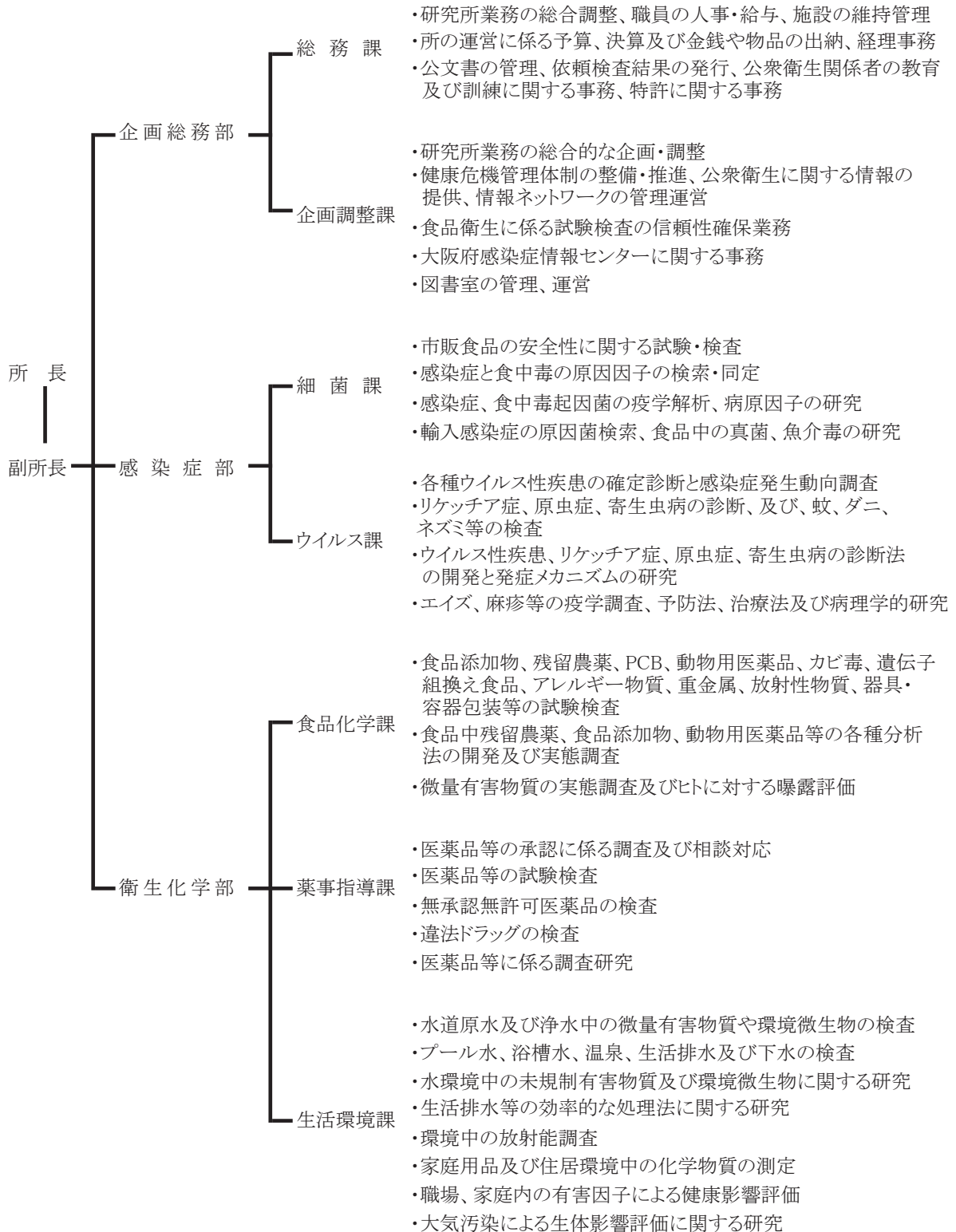


図 1.1 所の組織と業務

表 1.1 部課別・職種別現員表

(平成26年3月31日現在)

職 種 部 課		一 般 事 務	医 師	薬 学 士	獣 医 学 士	化 学	農 芸 化 学	生 物	臨 床 検 査 技 師	食 品 衛 生 監 視 員	電 気	機 械	経 営 工 学	自 動 車 運 転 手	電 話 交 換 手	医 療 機 器 操 作 手	研 究 補 助	合 計
所 長								1										1
副 所 長			1															1
企画 総務部	総 務 課	9									1	1		2	2			15
	企画調整課	2		1	1				1	1			1					7
感染症 部	細 菌 課				14				1							2	1	18
	ウイルス課		1	2	9			1	1							4		18
衛生 化学部	食品化学課			17			4											21
	薬事指導課			10														10
	生活環境課			10		1		1	2									14
合 計		11	2	40	24	1	4	3	5	1	1	1	1	2	2	6	1	105

注)

- (1) 感染症部長(兼務)は副所長の項に掲出 企画総務部長、衛生化学部長は、それぞれ総務課、食品化学課の項に掲出
- (2) 一般事務の職名は事務職員、他は技術職員である
- (3) 研究職は、医師、薬学(食品化学課の1名、薬事指導課の2名を除く)、獣医師、化学、農芸化学、生物、臨床検査技師である
- (4) 行政職は、(3)以外の職種である
- (5) 非常勤職員、臨時的任用職員を除く

2. 施設の状況及び庁舎の維持管理

図 1.2 建物の配置および付近の見取図

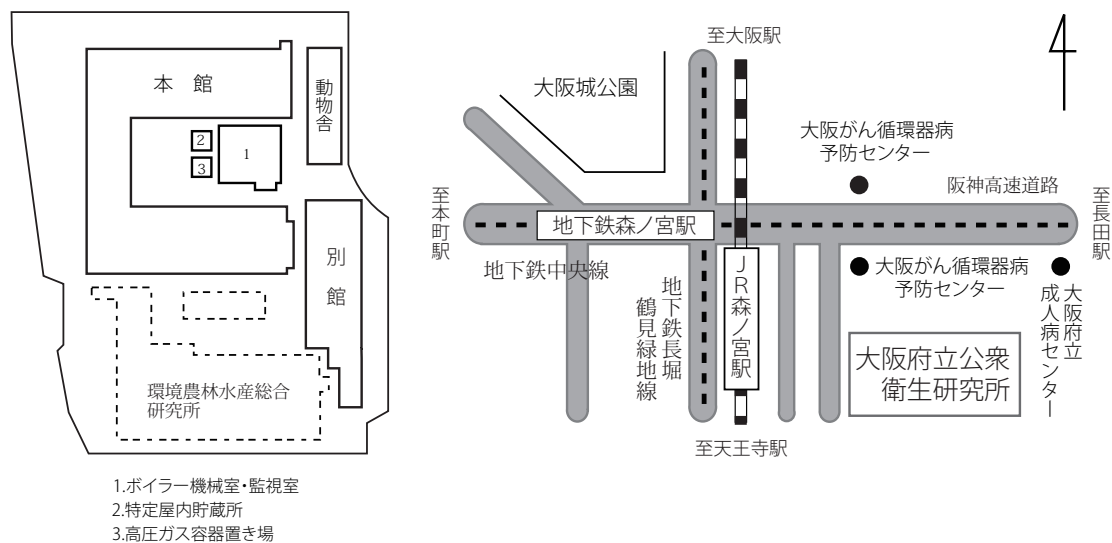


表 1.2 建物の概要

(平成26年3月31日現在)

名称	構造	建面積 (㎡)	延面積 (㎡)	備考
本館	鉄筋コンクリート造4階建	1,660.29	6,867.52	S34.12竣工 S37.2 増築
別館	鉄筋コンクリート造6階建	643.25	4,272.18	S49.10竣工
ボイラー機械室	鉄筋コンクリート平屋建	233.27	260.97	S49.10竣工
動物舎	鉄筋コンクリート2階建	202.50	405.05	S45.3 竣工
ボイラー監視室	軽量鉄骨造平屋建	9.69	9.69	S51.2 竣工
特定屋内貯蔵所	鉄筋コンクリート平屋建	8.99	8.99	H4.3 竣工
高圧ガス容器置場	鉄筋コンクリート平屋建	8.25	8.25	H20.2 竣工
合計 (㎡)		2,766.24	11,832.65	敷地 5,790.91

3. 歳入及び歳出

表 1.3 歳入決算

科 目	決算額(円)
総 額	81,773,226
使用料及び手数料	31,536,220
国庫支出金	10,589,648
諸 収 入	39,647,358

表 1.4 歳出決算

科 目	決算額(円)
総 額	984,670,644
公衆衛生総務費	662,645,885
報 酬	1,824,360
給 料	394,067,745
職 員 手 当	265,385,922
共 済 費	384,858
報償費	16,000
需用費	967,000
衛生研究所費	218,252,356
報 酬	141,000
共 済 費	1,118,080
賃 金	9,519,518
報 償 費	138,708
旅 費	2,926,559
需 用 費	95,381,335
役 務 費	3,974,720
委 託 料	60,188,830
使用料及び賃借料	34,956,045
工 事 請負費	488,250
備 品 購入費	8,497,051
負担金、補助及び交付金	922,260
総務管理費（一般管理費）	6,179,843
公衆衛生費（予防費）	16,172,793
環境衛生費（食品衛生費等）	63,472,231
医 薬 費（薬務費）	17,947,536

4. 運営審査会、委員会等

表 1.5 運営審査会、部会、委員会一覧

審査会・委員会	委員長・議長	委員*	備考
公衆衛生研究所運営審査会	山西 弘一	15名	所外学識経験者10、所内委員5
調査研究評価部会	田中 智之	9名	所外学識経験者9
倫理審査部会	井上 徳光	5名	所外学識経験者3、所内委員2
組換えDNA実験安全管理審査部会	上田 重晴	10名	所外学識経験者3、所内委員7
病原体等取扱安全管理審査部会	上田 重晴	9名	所外学識経験者4、地域代表者1、所内委員4
緊急対策特別委員会	山本 容正	16名	所外学識経験者2、地域代表者8、所内委員6
安全衛生委員会	山本 容正	16名	労働安全衛生法(昭和47年法57)及び大阪府職員安全衛生管理規程(昭和55年訓職140)による安全衛生管理に関する委員会
感染症防止対策委員会	高橋 和郎	8名	
病原体等取扱安全管理運営委員会	高橋 和郎	11名	
動物実験委員会	加瀬 哲男	9名	
ECD運営委員会	足立 伸一	5名	放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律(昭和32年法167第21条)による管理運営の組織
バイオサイエンス委員会	高橋 和郎	6名	
公衆衛生情報委員会	木村 明生	8名	
図書運営協議会	梶村 計志	9名	
研究発表会運営委員会	足立 伸一	8名	
所報編集委員会	沢辺 善之	8名	
化学安全実験室運営委員会	足立 伸一	4名	
備品委員会	高橋 和郎	10名	
重要物品機能評価委員会	山本 容正	10名	
公衛研ニュース編集委員会	久米田 裕子	8名	

* 委員長・議長を含む人数

5. 研究備品の整備状況

表 1.6 新たに取得した主要研究備品

(購入価格100万円以上)

備品名	型式
安全キャビネット	サーモ Class II 安全キャビネット 1368パッケージ

6. 広報、見学、報道

表 1.7 インターネットによる情報発信

Webによる情報発信	研究所の紹介、研究活動、健康危機管理、トピックス等 【感染症情報センター】 感染症発生動向調査(週報、月報、年報:事業報告書)、感染症ものしり講座、その他感染症関連情報
メールマガジンの配信	116号～127号を配信 定期購読者:約1,000名

表 1.8 公衛研ニュースの発行

号数	発行日	タイトル	所属	著者
第50号	H25.7.17	マダニが媒介する感染症について	ウイルス課	弓指孝博
		水道水質に関する農薬類の改正について	生活環境課	小泉義彦
第51号	H25.12.9	大阪府内で流通する食品の食中毒菌汚染実態調査	細菌課	原田哲也
		ヒスタミン食中毒 ～食品に含まれるヒスタミンについて～	食品化学課	栗津 薫
第52号	H26.3.20	アニサキス症とアレルギー	大阪市立環境科学研究所 微生物保健グループ	阿部仁一郎
		違法ドラッグ分析の現場から	薬事指導課	

表 1.9 見学等の受入れ

担当課	区分	テーマ	見学者	人数
食品化学課	見学	食品の放射線測定の見学	高槻市議会議員	2
ウイルス課	講義 見学	健康危機事案に対するガイドライン健康 危機事案発生時の活動など	JICA研修生（日中医学 協会）	13
ウイルス課	講義 見学	HIV感染診断とモニタリングのための実験 室検査技術	JICA研修生（国立感染 症研究所）	16
細菌課	講義 見学	大阪府の結核の現状、及び結核を含む 感染症の当所での取り組みについて	JICA研修生（公益財団 法人結核予防会）	18
細菌課	講義 見学	施設見学及び薬剤耐性に関する微生物 分析技術に関する研修	大学准教授 ベトナム衛生管理職員	1
食品化学課	講義 見学	食品化学の検査業務と施設見学につい て	台湾国立嘉義大学	5
食品化学課	講義 見学	着色料の検査方法	高校生	2
薬事指導課	講義 見学	当所の業務全般について	近畿厚生局麻薬取締部 神戸分室インドネシア衛 生管理職員	4
細菌課	講義	患者便からのKudoa septempunctata遺 伝子検出法の習得	岡山環境保健センター	1
細菌課	講義 見学	施設見学及び薬剤耐性に関する微生物 分析技術に関する研修	大学准教授 ベトナム衛生管理職員	1
衛生化学部	講義 見学	水道水検査、大気中有害物質検査、環 境放射線測定、薬事関係	大学生	14
衛生化学部	講義 見学	食品衛生検査業務について	専門学校生	41
薬事指導課	見学	平成25年度収去品目である輸液セットの 規格試験について	薬務課医療機器グループ	10
細菌課	講義 見学	大阪府の結核の現状、及び結核を含む 感染症の当所での取り組みについて	JICA研修生（公益財団 法人結核予防会）	10
感染症部	見学	細菌課・ウイルス課の見学	大学生	25
衛生化学部	見学	食品衛生検査(化学物質)及び環境衛生 検査の業務見学	大学院生	12
感染症部	講義	熟年期の感染症対策	団体	30

表 1.10 新聞報道

掲載日	新聞社	取材内容	関係部署
H25.4.3	毎日新聞	風疹の流行状況とその対策及び予防について	感染症部
H25.5.11	日経新聞	風疹の流行と予防について	ウイルス課
H25.11.19	産経新聞	結核集団感染について	細菌課
H25.11.28	毎日新聞	インフルエンザの予防対策について	感染症部
H26.1.22	朝日新聞	インフルエンザの流行状況と予防について	感染症部
H26.1.23	読売新聞	インフルエンザの発生状況について	感染症部
H26.1.23	日経新聞	ノロウイルス感染予防について	ウイルス課

表 1.11 電波報道

報道日	放送局	取材内容	関係部署
H25.5.9	NHK	SFTS (重症熱性血小板減少症) 及びマダニについて	ウイルス課
H25.6.14	毎日放送	ジャガイモに含まれる植物性自然毒による食中毒の発生について	食品化学課
H25.7.2	朝日放送	食中毒予防について	細菌課
H25.9.26	NHK	RSウイルス感染症の流行状況と予防について	感染症部
H25.10.1	朝日放送	秋の食中毒について	細菌課
H25.10.21	朝日放送	RSウイルスの特徴等について	感染症部
H25.11.27	読売テレビ	輸血事故で問題となったNAT (核酸増幅検査) について	ウイルス課
H25.11.28	朝日放送	インフルエンザの発生状況について	感染症部
H25.12.3	NHK	RSウイルス感染症の流行について	ウイルス課
H26.1.6	毎日放送	農薬 (マラチオン) の毒性等について	食品化学課
H26.1.17	関西テレビ	浜松市児童のノロウイルス集団感染に関連して	細菌課
H26.1.21	朝日放送	インフルエンザの流行状況とその対応及び予防について	感染症部
H26.1.22	毎日放送	ノロウイルスの手洗い方法と不顕性感染について	ウイルス課
H26.1.23	読売テレビ	インフルエンザについて	ウイルス課
H26.1.28	NHK	インフルエンザの流行状況とその対応及び予防について	感染症部
H26.1.29	朝日放送	ノロウイルスの手洗い方法と不顕性感染について	ウイルス課
H26.2.3	毎日放送	インフルエンザの流行状況と予防について	感染症部
H26.2.5	NHK	インフルエンザの流行状況とその対応及び予防について	感染症部
H26.2.7	関西テレビ	インフルエンザの流行状況とその対応及び予防について	感染症部

7. 教育、研修

表 1.12 国内からの研修の受入れ

(手数料収入のあるもの)					
開始日	期間	担当部課	研修内容	研修者	人数
H25.4.8	3ヶ月	ウイルス課	公衆衛生の重要性、役割の理解	学生	1
H25.4.11	7ヶ月	ウイルス課 食品化学課 生活環境課	公衆衛生学実習	学生	11
H25.7.8	1ヶ月	細菌課	汚染指標菌の分析技術の習得	一般企業	1
H25.8.19	1ヶ月	食品化学課 生活環境課	検査及び研究に関すること	学生	4
H25.8.19	1ヶ月	細菌課	微生物の基礎知識及び手技の習得	一般企業	1
H25.10.1	3ヶ月	ウイルス課	ウイルスの検査技術の習得	公務員	1
H25.10.28	6ヶ月	副所長	インフルエンザウイルス感染時における 鼻咽頭内のウイルス量及びIgA量の測定 技術の習得	学生	1

表 1.13 海外からの研修の受入れ

研修期間	担当部課	研修内容	派遣国	人数
該当なし				

表 1.14 研究職員の国際会議・学会等への派遣

所属	研究者	期間	学会名及び国名
細菌課	久米田裕子 河原隆二	H25.5.12～17	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
食品化学課	起橋雅浩 山口貴弘	H25.6.16～28	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	神吉政史 余野木伸哉	H25.6.16～29	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河原隆二	H25.6.14～29	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
食品化学課	小西良昌 山口貴弘	H25.8.18～30	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河原隆二	H25.8.15～31	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河合高生 陳内理生	H25.8.18～31	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
副所長	高橋和郎	H25.10.25～31	第7回国際ワクチン学会(スペイン)
食品化学課	起橋雅浩 内田耕太郎	H25.12.8～20	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	久米田裕子	H25.12.1～7	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	余野木伸哉	H25.12.1～14	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河原隆二 平井佑治	H25.11.28～12.13	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	河合高生	H26.3.2～15	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
細菌課	陳内理生	H26.3.1～14	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)
食品化学課	小西良昌 内田耕太郎	H26.3.2～15	地球規模対応国際科学技術協力プログラム「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」(ベトナム)

表 1.15 大学等の講師

所属	研究者	大学等教育機関名	期間	講義	回数
生活環境課	田中榮次	近畿大学	H25.4.1～H25.9.13	農学部環境管理学科	15
細菌課	河合高生	宮崎大学	H25.4.24	ヒラメを介した食中毒 の病原体・クドア	1
副所長	高橋和郎	鹿児島大学	H25.5.17	病原微生物	1
副所長	高橋和郎	愛媛大学	H25.5.21	病原微生物	1
ウイルス課	駒野 淳	旭川医大	H25.9.24～H26.3.7	臨床感染症学	2

8. 試験実施件数

表 1.16 (1) 衛生検査実施件数

		依頼によるもの				依頼によらないもの	計	
		住民	保健所	保健所以外の行政機関	その他(医療機関、学校、事業所等)			
結核	分離・同定・検出		69	11	6	7	93	
	核酸検査		178	17	14	8	217	
	化学療法剤に対する耐性検査		57	10			67	
性病	梅毒							
	その他							
ウイルス・リケッチア等検査	分離・同定・検出	ウイルス	5	607	884	66	836	2,398
		リケッチア			168			168
		クラミジア・マイコプラズマ						
	抗体検査	ウイルス			393	3		396
		リケッチア			54			54
クラミジア・マイコプラズマ								
病原微生物の動物試験								
原虫・寄生虫等	原虫							
	寄生虫							
	そ族・節足動物		1	5,593		48	5,642	
	真菌・その他							
食中毒	病原微生物検査	細菌		766			766	
		ウイルス		541			541	
		核酸検査		689			689	
	理化学的検査							
	動物を用いる検査		2				2	
	その他							
臨床検査	血液検査(血液一般検査)							
	血清等検査	エイズ(HIV)検査		17	46	128	3,114	3,305
		HBs抗原、抗体検査					364	364
		その他		1	1		181	183
	生化学検査	先天性代謝異常検査						
		その他						
	尿検査	尿一般						
		神経芽細胞腫						
		その他						
	アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)							
その他								
食品等検査	微生物学的検査			2,517	99		2,616	
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物等)			1,341	413		398	2,152
	動物を用いる検査				12		12	
	その他				5		5	
(上記以外)細菌検査	分離・同定・検出			109	97	173	110	489
	核酸検査			134	140	418	19	711
	抗体検査			6				6
	化学療法剤に対する耐性検査			139	58	180	124	501
医薬品・家庭用品等検査	医薬品				31		31	
	医薬部外品				11		11	

表 1.16 (2) 衛生検査実施件数

		依頼によるもの				依頼によらないもの	計	
		住民	保健所	保健所以外の行政機関	その他(医療機関、学校、事業所等)			
医薬品・家庭用品等検査	化粧品			35			35	
	医療機器			5			5	
	毒劇物							
	家庭用品			193			193	
	その他			76			76	
栄養関係検査								
水道等水質検査	水道原水	細菌学的検査						
		理化学的検査			37	20	1,688	1,745
		生物学的検査				53		53
	飲用水	細菌学的検査				12	24	36
		理化学的検査			84	22	1,492	1,598
	利用水等(プール水等を含む)	細菌学的検査					940	940
理化学的検査								
廃棄物関係検査	一般廃棄物	細菌学的検査				2	2	
		理化学的検査				344	344	
		生物学的検査						
	産業廃棄物	細菌学的検査						
		理化学的検査						
		生物学的検査						
環境・公害関係検査	大気検査	SO ₂ ・NO ₂ ・OX等				142	142	
		浮遊粒子状物質						
		降下煤塵						
		有害化学物質・重金属等					350	350
		酸性雨						
		その他			5		26	31
	水質検査	公共用水域			24		121	145
		工場・事業場排水			1			1
		浄化槽放流水			88		27	115
		その他					6	6
	騒音・振動							
	悪臭検査							
	土壌・底質検査							
	環境生物検査	藻類・プランクトン・魚介類					10	10
		その他			1			1
一般室内環境								
その他								
放射能	環境試料(雨水・空気・土壌等)			2,328			2,328	
	食品			3			3	
	その他			33			33	
温泉(鉱泉)泉質検査								
その他								
総計		5	7,174	10,956	1,095	10,381	29,611	

9. 調査、研究実施状況

表 1.17 (1) 通常研究、開発研究

感染症部			
課	研究課題	研究者	備考
細菌課	腸管感染症および類似疾患における細菌学的研究	勢戸和子 原田哲也	田口真澄 平井佑治
細菌課	細菌性呼吸器感染症に関する調査研究	勝川千尋 田丸亜貴	河原隆二
細菌課	結核菌および非結核性抗酸菌に関する研究	田丸亜貴 勝川千尋	河原隆二
細菌課	細菌性食中毒に関する研究	川津健太郎 坂田淳子	神吉政史 原田哲也
細菌課 *食品化学課	食品内で産生される細菌毒素に関する研究	河合高生 原田哲也 陣内理生	神吉政史 余野木伸哉 山口瑞香*
細菌課 *ウイルス課	食中毒原因物質としてのノロウイルスに関する研究	依田知子 山崎謙治* 中田恵子*	神吉政史 左近直美*
細菌課	真菌及び魚介毒に関する研究	川津健太郎 久米田裕子	坂田淳子
ウイルス課	腸管感染性ウイルスに関する研究	山崎謙治 中田恵子	左近直美
ウイルス課	ウイルス性呼吸器感染症の研究	森川佐依子 加瀬哲男	廣井 聡
ウイルス課	麻疹・風疹等の発疹を主徴とするウイルス感染症に関する研究	倉田貴子 駒野 淳	上林大起 加瀬哲男
ウイルス課	衛生動物を介する感染症に関する研究	弓指孝博	青山幾子
ウイルス課 *企画調整課	HIVおよびその他の性感染症に関する研究	森 治代 小島洋子 駒野 淳	川畑拓也 西村公志* 所外 共同研究
ウイルス課 *生活環境課 **企画調整課	原虫・寄生虫症に関する研究	倉田貴子 木村明生**	枝川亜希子*
ウイルス課 *企画調整課	単純ヘルペスウイルスに関する研究	西村公志*	川畑拓也 終了

表 1.17 (2) 通常研究、開発研究

衛生化学部			
課	研究課題	研究者	備考
食品化学課	食品添加物および健康危害物質に関する衛生学的研究	阿久津和彦 栗津 薫 柿本 葉 清田恭平	柿本幸子 野村千枝 山口瑞香
食品化学課	食品中の残留農薬等に関する研究	高取 聡 北川陽子 吉光真人 山口聡子	起橋雅浩 福井直樹 小阪田正和 山本遥菜
食品化学課	食品中に残留する微量有害物質に関する研究	起橋雅浩 柿本健作 内田耕太郎 山口瑞香	小西良昌 永吉晴奈 山口貴弘
食品化学課	食品中のアレルギー物質等に関する研究	清田恭平 吉光真人	栗津 薫 阿久津和彦
食品化学課	残留性化学物質によるヒト曝露とその影響に関する研究	小西良昌 永吉晴奈	柿本健作 山口貴弘
薬事指導課	医薬品等の品質確保及び健康被害防止に関する研究	川口正美 田上貴臣 土井崇広 浅田安紀子 青山愛倫	岡村俊男 梶月由香 中村暁彦 武田章弘
薬事指導課	生薬・漢方製剤に関する研究	田上貴臣 浅田安紀子 土井崇広	青山愛倫 武田章弘 川口正美
薬事指導課	化粧品に配合されるホルムアルデヒドドナー型防腐剤に関する研究	土井崇広 浅田安紀子 青山愛倫	田上貴臣 武田章弘
薬事指導課	違法ドラッグに関する研究	土井崇広 田上貴臣 浅田安紀子	川口正美 梶月由香 武田章弘
薬事指導課	薬用炭や球形吸着炭による中毒薬物の吸着の研究	岡村俊男	開発研究 終了

表 1.17 (3) 通常研究、開発研究

衛生化学部			
課	研究課題	研究者	備考
生活環境課	水道水の安全性に関する研究	小泉義彦 高木総吉 安達史恵	中島孝江 吉田 仁 田中榮次
生活環境課	小規模分散型生活排水処理システムに関する研究	奥村早代子	中野 仁
生活環境課	環境微生物に関する調査研究	肥塚利江 東恵美子	枝川亜希子
生活環境課	環境放射能および環境放射線の測定	肥塚利江 足立伸一	東恵美子
生活環境課 *企画調整課	住居と職場における有害化学物質への曝露状況と健康影響に関する研究	吉田 仁	吉田俊明*
生活環境課	家庭用品に関する衛生学的研究	味村真弓	所外 共同研究
生活環境課	大気汚染および住環境による健康影響に関する研究	大山正幸 中島孝江	東恵美子 所外 共同研究
生活環境課	水試料中ネオニコチノイド系殺虫剤の分析方法の開発	高木総吉 吉田仁 中島孝江 足立伸一	安達史恵 小泉義彦 田中榮次 開発研究 終了

表 1.18 受託研究、共同研究

研 究 課 題	所属	研究者
食品管理における耐性菌検出とそのモニタリングシステムの開発	細菌課	久米田裕子
ワクチンで予防可能な細菌性感染症における臨床分離菌株の収集および解析	細菌課	久米田裕子、勝川千尋、河原隆二、田口眞澄、川津健太郎、神吉政史、原田哲也、陳内理生、平井祐治
病原性大腸菌のゲノム多様性と病原機構に関する研究	細菌課	勢戸和子
病原性大腸菌の新規分類手法の開発に資する研究	細菌課	勢戸和子
イムノクロマト法による食品からの食中毒原因微生物(<i>Kudoa septempunctata</i>)の簡便、迅速な検出試薬のキット化に関する研究	細菌課	河合高生、原田哲也、陳内理生
休眠結核菌に関する研究	細菌課	田丸亜貴、河原隆二
簡易測定手法を利用した長崎県における麻痺性貝毒モニタリング調査	細菌課	川津健太郎
簡易測定手法を利用した佐賀県における麻痺性貝毒モニタリング調査	細菌課	川津健太郎
簡易測定手法を利用した熊本県における麻痺性貝毒モニタリング調査	細菌課	川津健太郎
家畜生産現場における食中毒菌検出法の確立	細菌課	川津健太郎
蛍光シリカナノ粒子に関するイムノクロマト診断試薬への応用技術に関する研究	細菌課	川津健太郎
感染症起因菌・ウイルス迅速検査に関する研究	ウイルス課	高橋和郎
インフルエンザ迅速診断試薬の開発研究	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡
ソフトコンタクトレンズ消毒剤の有効性に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡
インフルエンザ検査薬の反応性に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡
呼吸器感染症診断薬用モノクローナル抗体の反応性研究	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡
ノロウイルス検出における新規抗体の評価、および新規開発抗体を使用したノロウイルス検出キットの評価	ウイルス課	加瀬哲男、左近直美
市中におけるインフルエンザウイルス株の分離・培養及び提供と市中分離株の薬剤感受性試験	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡
RSウイルスおよびアデノウイルス各種サブタイトルでの抗体および検査キットの評価	ウイルス課	加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡
非エンベロープウイルスおよび芽胞菌を効果的に不活化するアルコール製剤の開発	ウイルス課 企画調整課	山崎謙治、中田恵子 西村公志
大阪府全域におけるノロウイルス流行調査	ウイルス課	左近直美、加瀬哲男、中田恵子
SPYMEGを用いた子宮頸癌に対する完全ヒト型抗体の創製と子宮頸癌治療にむけた研究	ウイルス課	駒野淳
浄化槽面整備後の地域水環境への影響評価	生活環境課	奥村早代子、中野仁
保育所における内装木質化の効果に関する研究	生活環境課	大山正幸、中島孝江

表 1.19 文部科学省科学研究費補助金による研究

研究種目	研究課題	所属	研究者
基盤研究B	タンパク質導入系LENAによる安全な分化・脱分化誘導法の確立	ウイルス課	駒野 淳
基盤研究B*	文化財展示収蔵施設の実情に即したカビ調査技術と制御に関する研究	細菌課	久米田 裕子
基盤研究B*	エジプトとタイにおける家畜・家きん由来インフルエンザウイルス性状変化追跡調査研究	副所長兼感染症部長	高橋 和郎
基盤研究B*	東アジアで発生する多環芳香族炭化水素誘導体の分布,越境輸送および生体影響	生活環境課	大山 正幸
基盤研究C	アメーバ性角膜炎迅速診断法に応用可能なアカントアメーバ特異抗原蛋白質の同定と発現	企画調整課	木村 明生
基盤研究C	クドア属粘胞子虫による新規寄生虫性食中毒の防止に向けた現場即応型検出法の開発	細菌課	河合 高生
基盤研究C	大阪府に蔓延する多剤耐性結核菌を用いた結核菌感染性マーカーの開発	細菌課	田丸 亜貴
基盤研究C	漢方薬・生薬中のアリストロキア酸(腎障害惹起物質・発がん物質)の検出法の確立	薬事指導課	田上 貴臣
基盤研究C	小児の呼吸器系ウイルスの侵淫度を探る	ウイルス課	森川 佐依子
基盤研究C	HIV感染者におけるHBV・梅毒トレポネーマの感染歴とHBV遺伝子型の解析	ウイルス課	小島 洋子
基盤研究C	アメーバ共培養法で検出したレジオネラの遺伝子型と棲息環境との関連性解析	生活環境課	枝川 亜希子
基盤研究C	網羅的迅速病原体遺伝子検出法の開発と公衆衛生への応用の評価	副所長兼感染症部長	高橋 和郎
基盤研究C	日常生活下の子どもにおける殺虫剤、可塑剤及び難燃剤への曝露とその吸収量の評価	企画調整課	吉田 俊明
基盤研究C	生原アミン類の生成を指標とした食品の新しい鮮度評価法に関する研究	食品化学課長	梶村 計志
基盤研究C	ノロウイルスの変異率と流行に関する研究	ウイルス課	左近 直美
基盤研究C	放射線損傷塩基である5,6-ジヒドロチミジンを経験した新規照射食品検知法の開発	食品化学課	高取 聡
基盤研究C	マクロライド耐性マイコプラズマ感染症の流行,薬剤耐性の把握と臨床的特徴の解明	細菌課	勝川 千尋
基盤研究C	肺炎球菌ワクチン導入による菌株遷移と新たな高病原性菌発生リスクの解析	細菌課	河原 隆二
基盤研究C*	ポリフェノールの免疫活性化を介した抗結核作用の解析と予防・治療への有効性の検討	細菌課	田丸 亜貴
挑戦萌芽	新型ウェルシュ菌エンテロトキシンの同定と食中毒事例への診断的応用	細菌課	余野木 伸哉
挑戦萌芽	不明熱患者から蚊の培養細胞で分離した未知のウイルスの解析と血清疫学	ウイルス課	弓指 孝博
若手研究B	化粧品中のホルムアルデヒド遊離型防腐剤による接触皮膚炎発症の原因解明に関する研究	薬事指導課	土井 崇広
若手研究B	腸炎ビブリオの迅速な現場即応型検査法の開発	細菌課	坂田 淳子
若手研究B	病院排水中の薬剤耐性菌と抗菌剤が水環境に及ぼす影響について	生活環境課	安達 史恵
若手研究B	RT-LAMP法を用いたアルボウイルスの網羅的検索	ウイルス課	青山 幾子
若手研究B	国内で流通する非加熱摂取食品に潜在する細菌学的健康リスクの解明	細菌課	原田 哲也
若手研究B	違法ドラッグ及びその代謝物の一斉構造決定を可能にする新システムの開発	薬事指導課	浅田 安紀子
若手研究B	NA活性はインフルエンザウイルスの流行形成と増殖性に影響を及ぼすか	ウイルス課	廣井 聡
若手研究B	医薬品を違法配合したダイエット食品の新規迅速分析法の開発と流通状況の解明	薬事指導課	中村 暁彦

注 *は分担研究者

表 1.20 厚生労働科学研究費補助金、環境省科学研究費補助金、その他の研究助成金による研究

研究課題	所属	研究者	補助金等事業者名
CBRNE事態における公衆衛生対応に関する研究	副所長兼 感染症部長	高橋和郎	厚生労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合 研究事業
我が国への侵入が危惧される蚊媒介性ウイルス感染症に対する総合的対策の確立に関する研究	副所長兼 感染症部長	高橋和郎	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・ 再興感染症研究事業
生鮮食品を共通食とする原因不明食中毒の発症機構の解明に係る調査研究	細菌課	久米田裕子	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
食品中の食中毒菌等の遺伝特性及び制御に関する研究	細菌課	久米田裕子	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
重症の腸管出血性大腸菌感染症の病原因子及び診療の標準化に関する研究	細菌課	勢戸和子	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・ 再興感染症研究事業
病原体解析手法の高度化による効率的な食品由来感染症探知システムの構築に関する研究	細菌課	勢戸和子	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・ 再興感染症研究事業
食品由来細菌の薬剤耐性サーベイランスの強化と国際対応に関する研究	細菌課	田口真澄	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
非動物性の加工食品等における病原微生物の汚染実態に関する研究	細菌課	田口真澄	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
医療・介護福祉施設を含む地域密着型の感染制御ネットワークの構築に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男	厚生労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合 研究事業
麻疹ならびに風疹排除およびその維持を科学的にサポートするための実験室検査に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・ 再興感染症研究事業
予防接種に関するワクチンの有効性・安全性等についての分析疫学研究	ウイルス課	加瀬哲男	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・ 再興感染症研究事業
プロウイルスゲノム破壊による革新的HTLV-1関連疾患発症遅延法の開発	ウイルス課	駒野 淳	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・ 再興感染症研究事業
病原体及び毒素の管理システムおよび評価に関する総合的な研究	ウイルス課	駒野 淳	厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・ 再興感染症研究事業
HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究	ウイルス課	川畑拓也	厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
検査機関の信頼性確保に関する研究	衛生化学部	尾花裕孝	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業
水道水質検査における対象農薬リスト掲載農薬のうち標準検査法未設定の農薬類の分析法開発にかかる調査研究	生活環境課	高木総吉	厚生労働科学研究費補助金 厚生労働科学特別研究事業
ウェルシュ菌新型エンテロトキシン遺伝子の分布調査	細菌課	余野木伸哉	公益財団法人 大同生命厚生事業団
大阪府におけるアデノウイルス臨床分離株の分子疫学研究	ウイルス課	廣井 聡	公益財団法人 大同生命厚生事業団
石炭燃焼由来の魚介類中メチル水銀量の海域別調査により胎児への健康被害を防止する	食品化学課	柿本幸子	公益財団法人 大同生命厚生事業団
非意図的生成化学物質であるハロゲン化多環芳香族炭化水素類による大気汚染の実態解明	食品化学課	柿本健作	公益財団法人 大同生命厚生事業団
クリプトスポリジウム等の遺伝子検出法の実試料(水道原水等)における有用性の検討	生活環境課	肥塚利江	公益財団法人 大同生命厚生事業団
食品由来リステリア菌における病原性の程度に関する研究	副所長兼 感染症部長	高橋和郎	株式会社ヤクルト
川崎病の病原微生物の同定に関する研究	副所長兼 感染症部長	高橋和郎	阪大微生物病研究会

10. 組換え DNA 実験、安全実験室の運用

表 1.21 組換え DNA 実験実施状況

実験・研究	レベル	所属	研究者
小児呼吸器感染症における起因病原微生物の包括的同定に関する研究	B1/P2	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
急性髄膜炎および脳炎の病原微生物に対する迅速診断法の開発	B1/P2	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
食中毒および感染性胃腸炎の病原微生物に対する迅速診断法の開発と性能評価	B1/P2	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
RSウイルスFタンパクの大腸菌・バキュロウイルスでの発現と産生	B1/P2	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
大腸菌由来抗生剤耐性遺伝子の解析(基質特異性拡張型βラクタマーゼ遺伝子CTX-Mの遺伝子解析)	B1/P2	細菌課	久米田裕子
ノロウイルスキャプシッドの大腸菌・カロバクター・バキュロウイルスでの発現とノロウイルスcDNA全長の哺乳動物細胞での発現	B1/P2	細菌課	依田知子
イチジク株枯病菌(<i>Ceratocystis fimbriata</i>)の18S rRNA 遺伝子の解析 (ITS領域も含めた)	B1/P2	細菌課	依田知子
ボツリヌス毒素の高感度検出法の開発	B1/P2	細菌課	河合高生
バンコマイシン耐性腸球菌のReal time PCR検出法の開発	B1/P2	細菌課	原田哲也
腸管出血性大腸菌のReal time PCR検出法の開発	B1/P2	細菌課	原田哲也
<i>Aspergillus flavus</i> におけるアフラトキシン産生の転写レベルでの発現制御機構の解析	B1/P2	細菌課	坂田淳子
「食中毒菌に対する特異的抗体の作製(<i>Vibrio</i> 属菌や <i>Campylobacter</i> 属菌、 <i>Salmonella</i> 属菌、 <i>Plesiomonas shigelloides</i> に対する抗体の作出やその抗体が認識する抗原の解析)	B1/P2	細菌課	坂田淳子
腸炎ビブリオの易熱性溶血毒の大腸菌での発現	B1/P2	細菌課	坂田淳子
ウェルシュ菌毒素の研究	B1/P2	細菌課	余野木伸哉
クドア属粘液胞子虫の簡易迅速検出法の開発	B1/P2	細菌課	陳内理生
<i>Sarcocystis</i> 属原虫の分類を目的とした新たな遺伝子マーカーの開発	B1/P2	細菌課	陳内理生
呼吸器系病原細菌における病原性および薬剤耐性に関する研究	B1/P2	細菌課	河原隆二
ウイルス性呼吸器感染症の研究(陽性コントロールプラスミドの作成およびPCR産物の塩基配列の決定)	B1/P2	ウイルス課	加瀬哲男
宿主-病原体相互作用の分子基盤に基づくウイルス感染症治療・予防・検査法の開発	B1/P2	ウイルス課	駒野淳
ウイルス性胃腸炎原因ウイルス、肝炎ウイルスおよびムンプスウイルスの遺伝子クローニング	B1/P2	ウイルス課	左近直美
ヒト免疫不全ウイルス(HIV)およびその他の性感染症に関する研究	B1/P2	ウイルス課	小島洋子
病原性原虫および自由生活性アメーバに関する研究	B1/P2	ウイルス課	倉田貴子
残留性化学物質による人体汚染に関する研究	B1/P2	食品化学課	永吉晴奈
食物アレルギー検出法の確立	B1/P2	食品化学課	清田恭平

表 1.22 安全実験室の使用状況

実験・研究	使用した病原体	レベル	所属	研究者
トリインフルエンザウイルスに対する迅速診断法の開発	高病原性トリインフルエンザウイルス	レベル3	副所長兼感染症部長	高橋和郎
高病原性トリインフルエンザウイルス、ウエストナイルウイルスに対する中和抗体価の測定	高病原性トリインフルエンザウイルス	レベル3	副所長兼感染症部長	高橋和郎
BSL3の病原細菌を原因とする問題発生時における菌の検索、同定、解析	炭疽菌 チフス菌 パラチフスA菌	レベル3	細菌課	久米田裕子、勢戸和子 勝川千尋、田口真澄 田丸亜貴、河原隆二 原田哲也
結核菌および非結核性抗酸菌に関する研究	結核菌 牛型結核菌	レベル3	細菌課	田丸亜貴 河原隆二
休眠結核菌に関する研究	結核菌	レベル3	細菌課	田丸亜貴 その他所外研究員2名
HIVおよびその他の性感染症に関する研究	ヒト免疫不全ウイルス1型 (HIV-1) ヒト免疫不全ウイルス2型 (HIV-2)	レベル3	ウイルス課	森治代 川畑拓也 小島洋子 駒野淳
衛生動物を介する感染症に関する研究	ハンタウイルス(ハンタンウイルス、ソウルウイルス) 恙虫病リケッチア 紅斑熱群リケッチア、Q熱コクシエラ ウエストナイルウイルス、チクングニヤウイルス 西部ウマ脳炎ウイルス	レベル3	ウイルス課	弓指孝博 青山幾子
ウイルス性呼吸器感染症の研究	SARS関連コロナウイルス 高病原性鳥インフルエンザウイルス	レベル3	ウイルス課	加瀬哲男 森川佐依子 廣井聡

11. 所内研究発表会、公開セミナー、一日体験講座

表 1.23 所内研究発表会

セミナー/講演	司会/座長	テーマ	講演者
第196回 公衛研セミナー	尾花裕孝	違法ドラッグについて	沢辺善之(薬事指導課長)
	高橋和郎	新しいコロナウイルス感染症	加瀬哲男(ウイルス課長)
	加瀬哲男	新しいインフルエンザウイルスH7N9感染症	森川佐依子(ウイルス課)
第197回 公衛研セミナー	高橋和郎	ヒト白血病ウイルスの民族疫学 — Local から Global への展開 —	園田俊郎(サザン・リージョン病院 ICD (鹿児島大学 名誉教授))
創立記念 特別講演会	挨拶：山本容正(所長)		
	尾花裕孝	基礎医学研究から創薬へ	米田悦啓(独立行政法人 医薬基盤 研究所理事長)

表 1.24 公開セミナーの開催

日時	平成26年1月15日(水) 14時～16時30分		
場所	大阪市立城北市民学習センター		
目的	保健衛生、健康意識の向上に役立つ知識をやさしく解説する 「第15回くらしのサイエンス講演会」として大阪市立環境科学研究所と共催		
対象	大阪府民、大阪市民		
【プログラム】			
開会のあいさつ		大阪市立環境科学研究所 所長 岡本篤佳	
講演			
1) 謎の食中毒の正体は、クドア・セプテンブククタータ		大阪府立公衆衛生研究所 細菌課長 久米田裕子	
2) たかがアニサキス、されどアニサキス		大阪市立環境科学研究所 調査研究課研究副主幹 阿部仁一郎	
閉会のあいさつ		大阪府立公衆衛生研究所 所長 山本容正	
参加者	65	名	

表 1.25 一日体験講座の開催

日時	平成25年10月26日(土) 13時～16時		
場所	大阪市立環境科学研究所		
目的	健康や環境について関心を深めていただく 「第17回一日体験講座」として大阪市立環境科学研究所と共催		
対象	大阪府民、大阪市民		
【プログラム】			
開会のあいさつ		大阪市立環境科学研究所 所長 岡本篤佳	
講義と実習			
Aコース 「測ってみよう！果汁のビタミンC」		大阪市立環境科学研究所 調査研究課研究副主幹 萩原拓幸	
Bコース 「食品中の天然色素と合成色素の違いを確認してみよう」		大阪府立公衆衛生研究所 食品化学課主任研究員 阿久津和彦	
参加者	23 名		

12. 図書及び資料の刊行

表 1.26 図書及び資料の刊行

平成25年度購入図書	洋雑誌	4	和雑誌	6
蔵書数 (製本済み)	洋書	2,790	和書	4,803
	洋雑誌	6,267	和雑誌	1,992
資料の刊行	平成24年度大阪府立公衆衛生研究所年報 (ISSN 0289-9809)			平成25年10月
	大阪府立公衆衛生研究所研究報告 No51 (PDF書類)			